

# 共栄プロクラブ 20周年記念冊子

～タテコー100万円クラブから半世紀の歩み～



## 2018年度スローガン

# 祝20周年! Challenge for the ネクストステージ

～「感謝と信頼」で原点回帰、会員拡大推進元年～

2007年度

**原点回帰 ～GO back to basics～**

2008年度

**成長! Grow Up KPC!**

～お客様の笑顔のために、品質向上の努力を惜しまず、継続的に成長する組織体を目指す～

2009年度

**Make Harmony KPC**

～お客様、KPC会員、共栄火災社員とのハーモニー(和)を尊重する組織を目指して!～

2010年度

**和から輪へ!!**

2011年度

**つながる! 広げる! 育む! そして成長するKPC!**

常にお客様の視点で考え、変化への努力を惜しまず、継続的に成長する組織体を目指す

2012年度

**共栄火災創立70周年はKPC飛躍元年**

～これまでも、そしてこれからもお客様から選ばれる代理店を目指すKPC～

2013年度

**更なる前進! 飽くなきチャレンジKPC!**

2014年度

**新生KPC元年!! 未来を見つめ新たなパワーでしなやかな変革!**

2015年度

**「結束」未来を勝ち取れ! 心はひとつKPC!**

2016年度

**「積小為大」信頼の積み重ねで、さらなる発展KPC!**

2017年度

**「協心戮力」心も力も一つにあわせ、新たな力を生み出せKPC!**

※協心戮力(きょうしんりくりよく)とは…心と力を合わせて、互いに協力して物事に取組むこと

**創立20周年にあたって**

## ご挨拶

共栄プロクラブ	第9代会長 小沼 茂文	4
共栄火災海上保険株式会社	代表取締役社長 助川 龍二	5
共栄火災海上保険株式会社	代表取締役専務 武藤 和文	5

**共栄プロクラブの概要**

I. 共栄プロクラブとは	8
II. 支部・会員数	9

**共栄プロクラブ誕生まで**

I. タテコー100万円クラブ	12
II. 共栄クラブ	13

**共栄プロクラブ20年の歩み**

I. 共栄プロクラブの誕生	18
II. これまでの活動	20
III. 歴代会長	23
IV. 会員数の推移	23

**創立20周年記念事業**

I. 歴代会長座談会	27
II. 記念キャンペーン	36
III. 記念植樹	36
IV. 社会貢献活動	37

**参考資料**

歴代本部役員	40
歴代支部リーグ優勝支部・KPC杯優勝支部	47
共栄プロクラブ 会則	48





## 創立20周年にあたって

.....  
ご挨拶  
.....

# 創立20周年にあたって

## ご挨拶



共栄プロクラブ  
第9代会長

**小沼 茂文**

有限会社 共栄モータークラブ 代表取締役



創立20周年を迎えるにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

1998年(平成10年)4月22日に「共栄プロクラブ第1回理事会」が開催されてから、一步一步歴史を刻み、共栄プロクラブは創立20周年を迎えることができました。

これまでの間、共栄プロクラブの諸活動に携わってこられた諸先輩をはじめ会員の皆さまのご尽力と、共栄火災のご支援に心から感謝申し上げます。

共栄プロクラブの歴史は、その前身組織である「共栄クラブ」に始まります。この「共栄クラブ」は、1981年(昭和56年)に当時の「タテコー100万円クラブ」「イーグルクラブ」「代理店会」と数ある組織体が一つとなって設立され、当初の会員数は3,300会員余、総事業量約700億円でスタートしました。

しかし、日本版金融ビッグバンによる環境の変化、保険業界の自由化に伴う大競争時代に突入し、「共栄クラブ」は、代理店の経営基盤の強化、大型化に向けた支援を目的とした組織への変革が必要となり、現在の「共栄プロクラブ」が誕生しました。

「共栄プロクラブ」は創立以降、研修活動や販促活動など会員の保険事業の拡大・安定を図ることを目的に、様々な事業に取り組んでまいりました。

2018年2月23日に開催されました第62回常任理事会では、2018年度の事業量計画が決定し、スローガンは『祝20周年！ Challenge for the ネクストステージ～「感謝と信頼」で原点回帰、会員拡大推進元年～』となりました。

タテコー100万円クラブから半世紀、16名の会員でスタートし、共栄クラブでは3,300会員余、共栄プロクラブ発足時には1,065会員でしたが、現在は318会員となっています。

スローガンには、この諸先輩方が築き上げてきたこれまでの歴史を振り返り、原点回帰することによって、さらなる躍進に向け会員拡大に取り組むことで次の10年を邁進する思いを込めています。

2018年度は、創立20周年を記念して、「共栄プロクラブ20周年記念冊子」の刊行を始め、様々な事業を実施してまいります。

一連の記念事業の実行に当たっては、常任理事メンバーをはじめ、全国の各支部長の皆さま、事務局のご助言やご協力をいただき深く感謝申し上げます。

会員並びに関係各位におかれましては、この記念誌をご高覧いただきますとともに今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



共栄火災海上保険株式会社  
代表取締役社長

## 助川 龍二

共栄プロクラブの創立20周年にあたり、心からお祝い申し上げますとともに、これまで20年間、会員の皆さまのご尽力により共栄プロクラブが弊社事業の中核を担うプロ代理店組織として事業活動を行っていただけてきたことに、心から敬意を表します。

さて、損保業界では、自然災害の多発、AIによる業務の機械化、業界のさらなる再編や異業種の

参入等、さまざまな環境変化が起きており、業界を取り巻く環境は、かつてない程のスピードで大きく変化していくものと予想されます。

2018年度は、中期経営計画「未来へのナビゲーション」の最終年度となりますが、「元受収保計画の達成」「販売網の拡充」「収益改善」「業務品質」を4つの柱とし、将来にわたり持続的な成長基盤の構築に向け、取組みを進めてまいります。

今後も創業来の「共存同栄」の理念を堅持し、共栄火災らしさである「つながり」や「あたたかさ」を今後も変わらず大切にまいります。

次の10年に向けて、会員の皆さまのご健勝と共栄プロクラブの益々のご発展を祈念し、創立20周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



共栄火災海上保険株式会社  
代表取締役 専務執行役員  
《共栄プロクラブ参与》

## 武藤 和文

創立20周年の節目の年を記念して、「共栄プロクラブ20周年記念冊子」を発刊されますことは、1965年に誕生した「タテコー100万円クラブ」から半世紀の歴史を振り返るとともに、今後の更なる飛躍を期されるうえで意義深く、1995年から3年間事務局を務めていた者の一人といたしましても、大変感慨深く感じております。

2017年度におきましては、一般計事業量目標を達成することができ、7年連続達成を果たすこ

とができました。これもひとえに会員の皆さまの日頃からのご協力の賜物であり、重ねて厚く御礼申し上げます。

共栄プロクラブは次の10年に向け、2024年度始までに現在の318会員から500会員を目指し、顧客本位の業務運営をベースとしながら、事業量拡大に取り組むこととしています。

共栄プロクラブの理念に賛同いただける代理店の方々にお声掛けいただき、共栄プロクラブの輪をさらに広げていきたいと考えておりますので、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、共栄プロクラブの益々のご発展とご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。



## 共栄プロクラブの概要

I. 共栄プロクラブとは

II. 支部・会員数

# I. 共栄プロクラブとは

「共栄プロクラブ」は1998年に前身である「共栄クラブ」を発展的に解散し、設立されました。

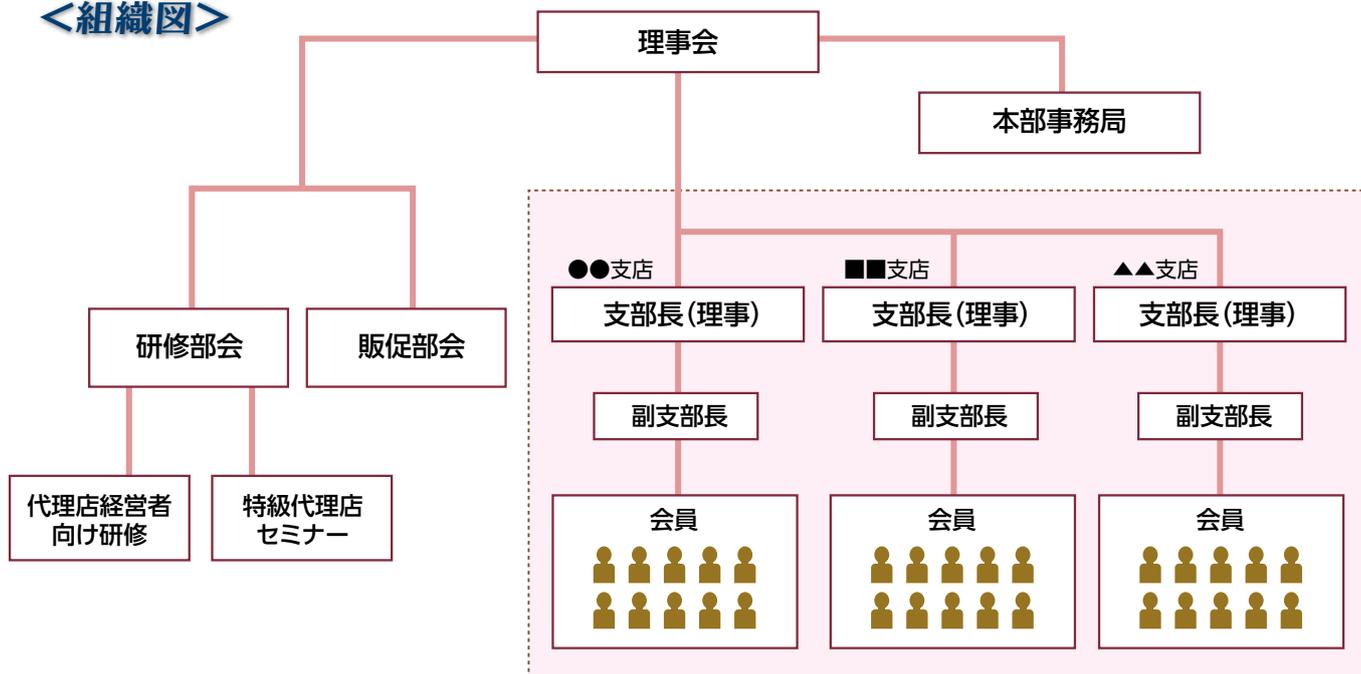
日本版金融ビッグバンによる環境の激変という大競争時代へ突入し、代理店が勝ち残るためには、優れた顧客対応力・コンサルティング力を身につけ、お客様に選ばれる真のプロ代理店となる必要に迫られる時代となったことから、1998年に“自主的かつ積極的に活動するプロ集団”として、「共栄クラブ」の4,000会員体制から、厳選された1,065会員による新しい組織体として「共栄プロクラブ」を結成しました。

2014年度からは、共栄火災とのパートナーシップがあり、共栄プロクラブの主旨に賛同し、各種運動に協力いただける自立を目指すプロ代理店であれば、会員として共に組織の発展と自らの事業量の拡大に取り組めるものと考え、組織の見直しを行っています。

共栄プロクラブの会則第2条では、「業界競争に勝ち抜きお客様から選ばれるプロ代理店として地域に密着した保険の普及活動を通して社会貢献を果すとともに、会員の保険事業の拡大・安定を図ることを目的に研修活動を中心とした組織活動を展開し、共栄火災海上保険株式会社、フコクしんらい生命保険株式会社との相互繁栄を目指す。」としており、高い顧客対応力を持ったプロ代理店集団を目指す組織体です。

共栄プロクラブでは組織の活性化等に向け、販促部会および研修部会を設置し各種活動を行っています。

## <組織図>

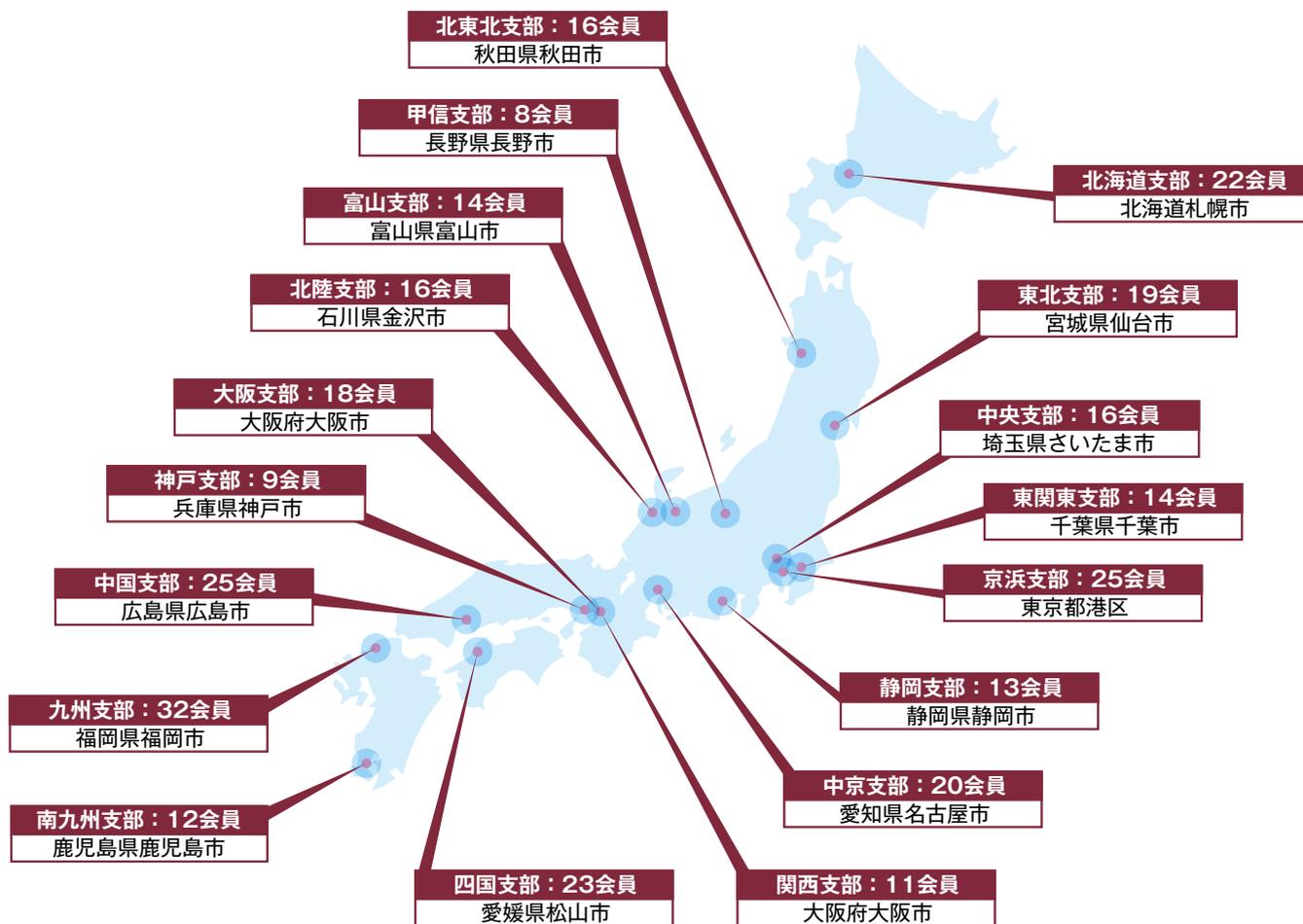


年1回、定例開催される理事会を最高決議機関とし、理事・参与を持って構成しています。

また常任理事会は執行機関であり、会長・副会長・常任理事・専門部長・参与をもって構成しています。

なお、共栄プロクラブには共栄火災の本社に本部を、支店ごとに支部を置くこととしています。会長は1名、副会長・常任理事理事は若干名、各部会長・参与を1名置くこととしています。

## Ⅱ. 支部・会員数 (318会員) ※2018年4月1日現在



※上記以外に本店営業部に5会員在籍



## 共栄プロクラブ 誕生まで

I. タテコー100万円クラブ

II. 共栄クラブ

# I. タテコー100万円クラブ

共栄プロクラブの歴史は、前身の組織体を含めると、今から53年前の1965年（昭和40年）、タテコー100万円クラブの誕生まで遡ります。

タテコー100万円クラブは1965年（昭和40年）、タテコー保有契約の年間入金保険料百万円を超えた代理店をもって組織化されました。

1965年（昭和40年）8月11日本社会議室で開かれた第1回目の会合は僅か16名の参加でしたが、タテコー保険販売に燃えるような情熱をもった代理店の集まりでした。初代会長には三幸社社長 更級学氏が就任しました。

タテコー100万円クラブの目的は会員相互の親睦や、タテコー保険の研究普及を図ることであり、会報の発行・会議の開催・研究会の開催・経験交流・市場調査・講演会の開催・優績会員の表彰等を行っていました。



タテコー100万円クラブ発会式



発会式後の懇談会にて

## タテコー100万円クラブ第1回出席代理店（敬称略）

代理店名	出席者	代理店名	出席者
三幸社	更級 学	寿商事	望月 儀一
東 医	村上 孝介	三 島	大村 善平
大洋住宅	富沢 長八	飛 州	三輪 三郎
甲府小尾	小尾 芳秋	沼田損害保険事務所	沼田 二郎
盛岡明石	明石 ナカ	湖 東	小倉 五平
青森桜田	桜田 兼蔵	城東第一	飯尾 友治
桜	雪吹 茂	釜下保険事務所	釜下 正純
イハラ	山本 森俊	豊 新	小西 芳夫

## ●タテコー100万円クラブの推移

タテコー100万円クラブの組織は年々急速に発展し、タテコー保険発売の5年目の1968年(昭和43年)には281会員、拳績は6億7千万円弱(代販入金の46%)、10年目の1973年(昭和48年)には907会員、拳績は39億1千万円(代販入金58%)、15年目の1978年(昭和53年)には1,378会員、拳績は82億3千万円(代販入金74%)にも達しました。この組織化されたタテコー100万円クラブはタテコー保険のみならず、積立ファミリー保険の販売にも大いに力を発揮し、当社積立部門の牽引役を果たすこととなります。

その後、誕生から16年間を経過したタテコー100万円クラブは、広く大衆保険分野開拓の推進母体としてふさわしい組織へと大きく飛躍を図るため、1981年(昭和56年)7月「共栄クラブ」として発展的に解散することとなります。

### 宣言

昭和39年発足以来、タテコー保険の普及・拡大と会員代理店の経営向上を目標に躍進を遂げてきた「タテコー100万円クラブ」は、さらに広く大衆保険分野開拓の推進母体としてふさわしい組織へと大きく飛躍をはかるために、本日ここに、本クラブ会員は新しい組織に全員そろって加入し、一層の発展をはかることを誓い解散することを宣言する。

昭和56年7月2日

## Ⅱ. 共栄クラブ

当時、損害保険の大衆化が進行しつつあった中で、代理店にはあらゆる保険機能のサービス提供が求められるようになっており、100万円クラブを凌駕する代理店の全国組織の構築が必要となりました。同時に、営業課・支社ごとに組織されていた代理店会メンバーからも研修を強化し、拡販を実現するための全国組織の構築が望まれていました。

そのような背景の中、1981年(昭和56年)7月第17回総代会にて、タテコー100万円クラブを発展的に解散することが決議され、同クラブ会員と全国の代理店会会員が一つとなり、新たに「共栄クラブ」が結成されました。初代会長には北九州商会の飛武恵氏が就任し、1981年(昭和56年)8月には、23支部、146分会、正会員3,320会員に達しました。

また、1991年(平成3年)には結成10周年を迎え、同年7月23日にホテルニューオータニで記念式典を挙行了しました。初めに土田祐滋会長(有限会社土田保険事務所)が「代理店を取り巻く環境は厳しいが、共に力を合わせ代理店経営と共栄火災の発展を期し、充実した研修活動を行って20周年、30周年を迎えられるよう努力したい」と力強く挨拶され、次いで、共栄クラブ顧問5会員、功労会員88会員、優績会員72会員を表彰後、竹村健一講師による「世界の中の日本…これからの国際情勢と日本の進路」と題する記念講演を行い、結成10周年を盛大に祝福しました。



共栄火災代理店ニュース「まごころ」1981年6月号

### ◆設立初年度の事業方針◆

- 4,000会員を目標に積極的に入会を呼びかけるとともに早期に支部・分会組織を確立し会員間の連携強化に努める。
- 顧客に信頼される充実した保険機能とサービスを提供できる会員をめざし知識・能力の向上と会員相互の啓発を図る。
- 大衆保険市場の損害保険普及活動を通じて会員の収保規模の拡大を図るため保険普及運動を協力を展開する。

### ◆設立総会スローガン◆

- 共栄火災との連帯の輪をひろげ、活発な組織活動を展開しよう!
- 「共存共栄」「相互扶助」の精神にもとづき、契約者サービスに徹し、損害保険の普及活動を通して地域社会に貢献しよう!
- 信頼される代理店をめざして、知識・能力を向上させ、厳しい競争の勝者となろう!

### 初代共栄クラブ役員 (敬称略)

役 職	氏 名	代理店名	所 属
会 長	飛武 恵	北九州商会	北九州
副会長	雪吹 茂	桜	北陸
	飯尾 友治	飯尾保険事務所	大一
	星崎 正彦	三幸社	団渉一
常任理事	柴田 幸重	三友会	首都三
	木下 喜作	札幌木下	北海道
	鈴木 正義	共栄	静岡
	小沢 治平	小沢商事	大二
	星崎 孝志	中部共栄保険事務所	南九州
理 事	小川 武時	高砂保険事務所	東一
	山出 正一	共栄ハウス	東二
	湯田 穰	SBC音配	首都一
	志村 弥吾	(株)マルセイ	首都二
	島田 光年	横浜島田	横浜
	木村 靖	友輪商事	東北一
	関口 美津夫	関口保険事務所	東北二

役 職	氏 名	代理店名	所 属
理 事	武井 昭二	武井	中京
	和久田 喜久雄	全水共京都	京都
	上野 恭生	上野	神戸
	杉山 正	苫津	東中国
	千葉 進	丸葉損保	中国
	岡部 清	住吉	四国
	横田 稔	熊本横田	九州
監 事	海野 宏	海野保険事務所	東二
顧 問	窪田 角一		
相談役	高木 英行	共栄火災	





中部ブロック募進集会



関西圏ブロック募進集会



首都圏ブロック募進集会

共栄クラブ5周年記念キャンペーン決起集会



共栄クラブ結成10周年記念全国会員代表者会議

## 共栄クラブの推移

共栄クラブは創立後大きく発展を遂げ、1987年(昭和62年)4月にはイーグルクラブ\* (共栄火災が中核代理店を中心に認定していた代理店の組織)を統合しました。

積極的なキャンペーンの展開や、各支部での集会等を実施し、1997年度(平成9年度)には4,000会員余、事業量は約2,058億円という大組織体へと成長しました。

しかしながら、急速な自由化の進展にともない、代理店は従来にない厳しい環境下におかれ、保険のプロとしての機能がより一層求められるようになりました。そこで、活動の中心を個々の代理店の販売力向上におき、結果として増収成果が表れる組織体にしていく必要があるとの考えのもと、共栄プロクラブへの組織改革が進められました。

\*イーグルクラブとは、「Executive Agent Locally Established」の頭文字をとったもので、共栄火災の中核代理店を育成する構想をもとに、それぞれの地域の代理店で構成され、飛躍の発展に向かって飛翔する中核代理店の姿勢を象徴するものとしています。昭和44年12月の第1回選考で143店がイーグル代理店に選定されました。



### 会員数の変遷

	タテコー100万円クラブ				共栄クラブ	
年度	1965	1968	1973	1978	1981	1997
会員数	16	281	907	1,378	3,320	4,000

## 共栄プロクラブ 20年の歩み

I. 共栄プロクラブの誕生

II. これまでの活動

III. 歴代会長

IV. 会員数の推移

# I. 共栄プロクラブの誕生

保険業界の自由化に伴う大競争時代に突入し、代理店は優れた顧客対応力とともに、個々の代理店の総合販売力、リスクマネジメント能力、ファイナンシャルアドバイザーとしての機能等の力の発揮が求められるようになりました。それにともない、共栄クラブは、これらを実現しようとする増収意欲のある代理店の経営基盤の強化、大型化に向けた支援を目的とした組織への変革が必要となりました。そこで、共栄火災の会社政策・方針・理念に賛同いただくとともに、向上心が高く、自主的かつ積極的に活動に参加し、顧客対応力を持ったプロとしての自覚と、確かな経営理念を持ったプロ代理店または、それを目指す代理店の集団として「共栄プロクラブ」の設立へと向かうこととなりました。

1998年(平成10年)4月22日に「共栄クラブ」の解散を決議し、各支部会員の総意を受けた設立発起人の方々が集まり、「共栄プロクラブ設立発起人会」が開催されました。設立発起人会では、早川営業統括部長より共栄プロクラブ設立の主旨、経緯報告がなされ、議長に選出された長田氏(中国支部)の進行により「共栄プロクラブ会則」「共栄プロクラブ運営細則」について審議がなされ、松本氏(神戸支部)の提案による一部文言の修正を経て満場一致で承認され、「共栄プロクラブ」の設立が決定されました。

また、設立発起人会終了後開催された「共栄プロクラブ第1回理事会」では、共栄プロクラブ会則に従い役員を選出・選任がなされ、初代会長には共栄クラブの会長である呉保険センター(現:KIC保険G)の長田博之氏が就任しました。そして、この年の事業計画が審議され、共栄プロクラブを真のプロ代理店集団にしたいとの思いが伺える熱心な討論の後、満場一致で承認されました。引き続き、海野副会長から「設立宣言」が力強く宣言された後、共栄火災鈴木社長・共栄火災しんらい生命野村社長より祝辞をいただき、最後に新役員を代表して新会長の長田会長が設立にあたり新たな決意を述べられ、全ての議事が終了しました。

共栄プロクラブでは、会員の意向を踏まえ共栄プロクラブ・共栄火災・共栄火災しんらい生命が一体となった活動を推進するために、研修活動の活性化、普及活動並びに本社集合研修、セミナー等の企画、検討を行う「研修活動推進部会」、販促活動(年間運動・キャンペーン等)の推進、企画、検討等を行う「販促活動推進部会」、また、共栄プロクラブ会員向け商品の研究、販促重点商品の企画、販促上のポイント等の情報収集ならびに情報交換を行う「商品情報研究部会」の3つの部会が設けられました。



共栄クラブ設立発起人会  
共栄火災代理店ニュース「まごころ」1998年4月号

### <初代役員一覧>

役 職	氏 名	代理店名	所 属
会 長	長田 博之	呉保険センター	中国
副会長	小畑 武彦	三幸社	系統市開
	海野 成徳	海野保険事務所	東営一
	後藤 武志	(有)ゴト一保険事務所	九州一
常任理事	高橋 浩	アサヒ	横浜
	濱田 繁光	共栄濱田保険事務所	北海道一
	沓澤 六雄	(有)沓澤総合保険事務所	東北三
	笹木 伸弘	金沢笹木	北陸
	雨宮 高彦	ニコー	静岡
	安松谷 義彦	安松谷総合保険サービス	大阪
	出口 史典	(有)でぐち保険事務所	四国
研修活動推進部長	安松谷 義彦	安松谷総合保険サービス	大阪
販促活動推進部長	小林 正彦	(有)共栄小林	西東京
商品・情報研究部長	出口 史典	(有)でぐち保険事務所	四国
参与	小林 多喜男	共栄火災専務取締役	

## Ⅱ.これまでの活動

2018年に創立20周年を迎える共栄プロクラブでは、これまでさまざまな活動を行ってきました。

### ■研修活動

共栄プロクラブでは、お客さまのニーズを捉え、的確なコンサルティングを実践するために必要な、幅広く高度な知識の習得と、販売技術の向上を図るため、さまざまな研修活動を行ってきました。

#### <これまでに実施してきた主な本部主催研修活動例>



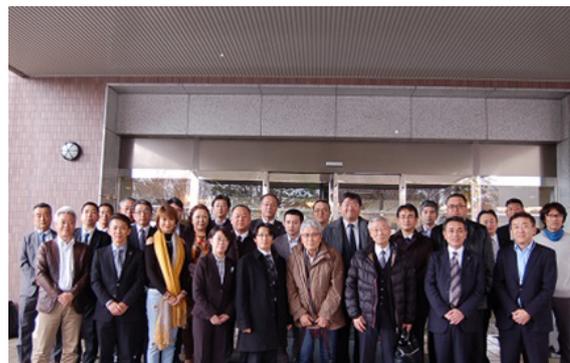
本部研修「個人開拓コース」  
1998年6月1日～6月2日



本部研修「女性セミナー」  
1998年9月3日～9月4日



野口アカデミー  
2009年1月15日



経営者研修会  
2018年1月19日～1月20日

その他各支部でもさまざまな研修を行ってきました。



## ■ 10周年事業

共栄プロクラブが10周年を迎えた2008年（平成20年）には、記念セレモニーや「救命技能認定証取得」などの社会貢献活動を実施しました。



共栄プロクラブ10周年記念セレモニー  
2008年4月17日



共栄プロクラブ10周年記念懇親会  
2008年4月17日



共栄プロクラブ10周年記念社会貢献活動

## ■ 年間販促活動

共栄プロクラブでは、年間販促活動として支部リーグや各種キャンペーンを実施し、毎年大きな盛り上がりを見せています。

<過去の優績者表彰式の様子>





2016年度年間販促活動 支部リーグ優勝 東関東支部

2015年度からは、第3四半期キャンペーンにおいて「KPC杯争奪戦」を実施しており、毎年盛り上がりを見せています!

KPC杯優勝支部

年度	支部
2015	静岡
2016	神戸
2017	静岡



2015年度



2016年度



2017年度

共栄プロクラブでは、今後30周年、40周年を目指し、さまざまな活動を展開していきます。

1965年(昭和40年)8月	タテコー100万円クラブが誕生
1978年(昭和53年)	1,378会員、事業量82億3千万円に到達
1981年(昭和56年)7月	タテコー100万円クラブを解散し、共栄クラブが誕生
1987年(昭和62年)4月	共栄火災中核代理店組織であるイーグルクラブを統合
1997年(平成9年)	4,000会員、事業量2,058億円へ到達
1998年(平成10年)4月	共栄クラブを解散し、共栄プロクラブが誕生

## Ⅲ. 歴代会長

 <p><b>初代</b></p> <p>1998年 <b>長田 博之</b></p> <p>呉保険センター(現:KIC保険G)</p> <p>中国支部</p>	 <p><b>第2代</b></p> <p>1999年~2001年 <b>海野 成徳</b></p> <p>海野保険事務所</p> <p>東京支部(現:京浜)</p>	 <p><b>第3代</b></p> <p>2002年 <b>雨宮 高彦</b></p> <p>ニコー</p> <p>静岡支部</p>
 <p><b>第4代</b></p> <p>2003年~2005年 <b>安松谷 義彦</b></p> <p>安松谷総合保険サービス</p> <p>大阪支部</p>	 <p><b>第5代</b></p> <p>2006年~2008年 <b>小林 正彦</b></p> <p>有限会社共栄小林</p> <p>西関東支部(現:甲信)</p>	 <p><b>第6代</b></p> <p>2009年~2010年 <b>飯尾 和子</b></p> <p>(株)飯尾保険事務所</p> <p>大阪支部</p>
 <p><b>第7代</b></p> <p>2011年~2013年 <b>鈴木 良樹</b></p> <p>共栄</p> <p>静岡支部</p>	 <p><b>第8代</b></p> <p>2014年~2016年 <b>竹内 雅二</b></p> <p>(有)雅エージェンシー</p> <p>横浜支部(現:京浜)</p>	 <p><b>第9代</b></p> <p>2017年~ <b>小沼 茂文</b></p> <p>KMライフ</p> <p>東関東支部</p>

## Ⅳ. 会員数の推移

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
会員数	1,065	1,048	965	1,122	1,071	715	597	561
年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
会員数	509	420	354	287	296	281	271	271
年度	2014	2015	2016	2017	2018	.....		2024 目標
会員数	305	306	301	304	318			500

※代理店合併等による期中脱退は含まない  
 ※2016年度以降は期中入会も含む



## 創立20周年記念事業

I. 歴代会長記念座談会

II. 記念キャンペーン

III. 記念植樹

IV. 記念社会貢献

## 創立20周年記念事業概要

- ①KPC組織のさらなる発展へと向かうべく、自動車保険を中心とした事業量拡大に向けた「販促活動」
- ②これまで築きあげてこられた諸先輩方の功績を振り返ることによる発展的な「組織規模拡大」を目指す
- ③プロ代理店の定義に位置づけている「保険に限らず、地域社会との交流を通じて、常に身近な存在として貢献している」地域に愛される社会貢献活動への取組み

### ①販促活動

- 自動車NF保有台数の維持・増台
- 自動車保険料率改定による単価(手数料)ダウンの防止

### ②組織規模拡大

- 歴史を振り返り、さらなる組織活性化
- 会員増により成長を続ける組織を目指す

### ③社会貢献

- 保険に限らず、地域社会との交流を通じて身近な存在としての貢献活動

**KPCの  
さらなる  
発展**

**KPC  
20周年事業**

**社会貢献活動**

Kyoei Safe Water For Children  
プロジェクトへの協賛

**記念  
キャンペーン**

**記念冊子の作成  
記念ロゴの作成**

**記念座談会**

**記念植樹**



# I. 歴代会長記念座談会

開催日：2018年3月6日



## 共栄プロクラブのこれまでと 次の10年に向けた新たな挑戦

～タテコー100万円クラブから共栄プロクラブへの半世紀を振り返って～

今回、7名の歴代会長にご参集いただき、タテコー100万円クラブから共栄クラブ、そして共栄プロクラブへの半世紀を振り返りながら、それぞれの地域に根ざした取組みや共栄火災とのこれまでの関わり、また、今後も大切にしていきたい価値観や若手代理店の成長への期待を中心に、共栄火災と代理店が共に保険事業を営むパートナーとして大切なことは何か、アドバイスをいただきました。

### 助川社長 ▶▶▶

本日はお忙しい中、共栄プロクラブ（以下「KPC」）歴代会長の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

2017年6月に社長に就任し、表彰式や全国を回って皆さんとお会いして一番感じたことは、代理店の方と営業店のメンバーが良い関係を築いて仕事をしているということです。

メガ損保による代理店の選別や、自然災害の多発、AIによる業務の機械化など、様々な外部環境の変化がありますが、中堅損保である共栄火災は皆さまとの「つながり」や「信頼関係」を大切にしているところが持ち味だと強く感じております。

共栄火災海上保険株式会社  
代表取締役社長

助川  
龍二  
Sukegawa  
Ryuji



タテコー100万円クラブ設立から52年が経ち、共栄火災は創立75周年を迎えましたので、約3分の2の期間を皆さまと共に歩んできた歴史があります。

今後も皆さまと良い関係を築きながら、さらなる発展に向け事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、プロ代理店の方々の鋭い目線で、これまで苦労されたことやアドバイス等をお話いただければと思います。

### 武藤専務(共栄プロクラブ参与) ▶▶▶

前は2010年に座談会を開催しておりますが、今回は新たに鈴木元会長、竹内相談役、小沼会長に加わっていただき、7名での開催となります。

少しだけKPCの現状をお話させていただきますと、2017年度KPCの一般計事業量目標に対し実績は、2月末で達成率100.5%となり、7年連続の事業量目標達成に向けて小沼会長を筆頭に邁進いただいております。今年度の販促活動を振り返りますと、第3四半期キャンペーンでのKPC杯争奪戦では静岡支部が優勝されましたが、関東東支部と激戦を繰り広げ、その他の支部にも奮闘いただき大いに盛り上がりました。また、2月23日に開催されました第62回常任理事会では、次年度の事業量目標が決定し、スローガンは「祝20周年! Challenge for the ネクストステージ~「感謝と信頼」で原点回帰、会員拡大推進元年~」となりました。

この会員拡大の取り組みでは、2024年度始までに現在の304会員から500会員への拡大を目指した運動を展開していきます。また次の10年に向けて顧客本位の業務運営をベースとしながら、事業量拡大、会員拡大、事業承継対策を中心とした事業計画としています。いずれにしてもKPCらしく会員の皆さまと共栄火災社員とで一緒に盛り上げていけたらと思っています。

本日は皆さまのお話を伺いながら、今後の事業



運営の参考にさせていただきたいと思っております。

### 武藤部長(司会進行役) ▶▶▶

弊社は現在、代理店の皆さまを“ともに保険事業に取り組むパートナー”として、コミュニケーションを通じて真剣に向き合い、大手メガ損保とは一線を画した中堅損保として取り組む方針を掲げています。まず始めに、タテコー100万円クラブ誕生から半世紀を振り返って、「イコールパートナーとして大切なこと」と題して皆さまからアドバイスいただければと思います。

### 雨宮氏 ▶▶▶

自動車販売会社を脱サラして44年が経ち現在に至っております。その間、共栄火災に教えてもらったことはたくさんあります。やんちゃな私たちがこれまで育ててきてくれたのは共栄火災です。時折、大手損保社から乗合の話がありますが、きっぱりとお断りしています。今でこそ地域においてある程度の地位を確保しておりますが、私と



いう人間を一生懸命育ててくれた共栄火災の諸先輩があって今があるわけです。だからこそ、他の損保会社に乗り合うことはできないとはっきりとお断りしています。そして、他損保に負けないように共栄火災を背負って、「地域一番店」を確保していきます。

熱海の人口は4万8千人ですが、その中でシェアは他社損保に負けずNo.1です。共栄火災にお世話になった際の「まごころ」を、今度は自分がお客さまにどうしたら尽くせるのか、一生懸命社員ともども研究をして汗をかいてきました。共栄火災では商品がないこともあります、なければあるもので組み合わせて補って契約していただいています。私は、「できない理由」ではなく「できる理由」を考え、いつでも先頭を突っ走ることが大切だということを信念としています。

#### 安松谷氏 ▶▶▶

共栄火災の職員として10年在籍し、30歳のときに代理店となってから43年経ちました。社員の構成は息子が社長で、自分と事務員を入れた3人であり、全員が元共栄火災職員です。その意味では生粋の共栄火災代理店だと思っています。

代理店として目指してきたところは、多種目販売、アンダーライティングの徹底です。私の地域は自動車の損害率が非常に高い地域なのですが、現在、損害率30%程度を維持できています。代理店も儲ける代わりに、保険会社にもきちんと儲けていただく、これを私たち3人のモットーとして仕事をしています。

代理店としては「地域一番店」を目指して取組



んでおりますが、代理店経営においては、毎年5%の成長が必要と考え、よく言われる代理店手数料1人あたり1,000万円以上となるよう安定した増収を目標としています。安定した代理店経営を目指していくためには、共栄火災社員とのコミュニケーションが不可欠であり、これからも社員との対話は欠かさずやっていきたいと思ひます。

#### 小林氏 ▶▶▶

私は研修生OBで小沼会長とは同期研修生でした。年齢は65歳になるのですが、若いころから様々な会合に出させて頂きました。会合に参加した時に必ず他の代理店に対して聞くことがあります。それは、「皆さんは共栄火災が好きか」ということです。この質問をすると、「共栄火災という会社が嫌い」と答える人はまずいません。私もそうなのですが、共栄火災が好きでなければKPCも好きになれませんし、自分の仕事にも影響が出ると思ひます。

共栄火災の良いところの一つに、「代理店が代理店を育てる」という風土があります。たくさんの先輩にいろいろなことを勉強させていただき、地域一番店を目指してやってきました。この会社が好きだという思いの中で、みんながみんなを育てるという環境づくりを共栄火災は許してくれます。多くの他社損保では代理店会がないところが多いです。この環境があることは非常に良いことだと思います。

また、小沼会長はKPC会員をひとりでも増やし、共栄火災やKPCの良さを知ってもらいたいとおっしゃっています。「仲間を育てる」ではないで

すが、皆さまも地元に戻ってそういう方がいらっ  
しゃったら「一緒にやろうじゃないか」と是非お声  
掛けしていただいて一緒に組織作りをしていただ  
ければと思います。

### 飯尾氏 ▶▶▶

タテコー100万円クラブから半世紀ということ  
ですが、まさに私の事務所は今年60周年になりま  
す。ちょうど60年前というと私が生まれて1歳の  
頃ですので、人生のほとんどを共栄火災と深く関  
わりながら過ごしてきました。KPC組織をはじめ  
特級セミナーや経営者向け研修会など、全国それ  
ぞれの地域で頑張っている方々や、自主的に若い  
人たちが集まる勉強会というものが恒例化してい  
る会社は他にはないと思っています。

KPCという組織を中心に、代理店が年に何回  
か集まったり、地域を越えて行き来することで、お  
互いに切磋琢磨しながら今日までやってこれたの  
は何よりの宝物だと思っています。その中でこの  
歳になり従業員が後を継いで一生懸命やってくれ  
ていることに感謝しています。

お客さまに対するアドバイスや業務知識や事故  
処理テクニックなどは、職人技に近いものだと思  
います。それをどうやって次の世代に引き継いで  
いくか、守り続けていくのかは大きな課題であり、  
私が会長をさせて頂いたときは、「若手育成」を  
テーマに掲げました。これから20代30代の人たち  
がこの仕事をやっていくのか、育っていくのか非常  
に不安ではありますが、特級セミナーなどでは、全  
国で若い人たちがどんどん育ってきていることも  
聞きます。そういう声を聞くと大変心強いです。

第6代会長

2009～2010年

(株)飯尾保険事務所

飯尾 Iio  
和子 Kazuko



日々いろいろなところで、親が子どもに教える  
ように、伝えて見せて育てていくということが大  
切で、それが共栄火災だから暖かくできていると  
感じています。今の若い人は大きな時代の変化に  
対応しようと、ITやクラウドなどに対しても非常に  
モチベーションを高く持っています。そういう若い  
力をKPCの中にも取り入れ、発展していつてもら  
いたいです。

### 鈴木氏 ▶▶▶

この会合に出る前に2010年の座談会の記事  
を見たのですが、まず目に付いたのが、その年に  
長田元会長が亡くなったことを伝える部分でした。

特級制度ができた頃は、私も長田さんもまだ若  
手で、共栄火災の「きぼう寮」で頭を抱えて勉強し  
ていたことを思い出しました。その後、KPCの会  
合にも出席させていただくようになり、飯尾さん  
が会長のときはKPCという組織自体の見直しが  
大幅に行われ、会社自体が変わったという印象を  
持ちました。

タテコー100万円クラブが共栄クラブに変わっ  
てすぐに今の特級セミナーができましたが、KPC  
になっても良いものは継続させていく方針のも  
と、レインボーでのセミナーは継続されました。

その後、私が飯尾さんの後の会長をやらせてい  
ただきました。KPCは他社に比べても相当よい組  
織だと胸を張って言えると思います。良いものは  
残し、悪い習慣は無くしながら進んでいけば、  
KPCは永久だと思っています。今日こうやって集  
まりますと感慨深いものがあり、まずはKPC30周  
年までみんなと一緒に生き残るために、切磋琢磨  
し取組んでいかなければならないと思っています。

### 竹内氏 ▶▶▶

タテコー100万円クラブが、半世紀前というこ  
ともあり、私自身はタテコー100万円クラブ時代  
を知りませんが、若い頃に飯尾さんの亡きお父さ

んから、当時はタテコー保険でたくさん稼がせてもらったという話をよく聞かせて頂きました。

私も今年で研修生として共栄火災と付き合いが始まって36年目を迎えますが、元々自動車ディーラーの職工上がりですから、スタートしたときはもちろん営業経験もなく、保険知識もゼロでした。そこから、新規一転新しく小田原の地で研修生を始め、何とか食べられるようになったのは5年くらいたった頃でした。その間、支社長や営業担当者によく助けて頂き、どうにかやってこれました。私は共栄火災の職員さん、代理店の仲間とのつながりというのは今も変わらず非常に密接なものがあると思っています。

研修生を卒業した1年目に、代理店をやりながら生保会社の募集人をやったことがありました。しかし、その生保会社が破綻。自分の大切な損保のお客さまに生保をお勧めしており、私を信頼し加入していただいた皆さまとの信頼関係が崩れてしまい大変つらい思いをしました。

ですので、会社と私たちは一蓮托生の身であって、同じ釜の飯を食う仲間なのだと思います。共栄火災に求めたいことは、「メーカーである共栄火災に頑張ってもらって、共栄火災が無くなることだけは避けて欲しい。また、より良い商品提供をお願いしたい」ということです。私たちは共栄火災から仕入れた保険商品を一生懸命売ります。そこでお客さまから稼いできた大切な保険料で共栄火災と一緒に成長していきたいです。今後もその精神は変えることなくやっていきたいと思っていますし、共栄プロクラブの横のつながり、先輩たちからの教養を生涯大切にしていかなければいけないと思っています。

#### 小沼会長 ▶▶▶

私も研修生で入社し、自分自身今まで他の会社に勤めたことがなかったので、共栄火災には一からというよりゼロからお世話になっています。共栄



火災の職員をはじめ代理店の先輩方にここまで連れてきてもらったと思っています。

先ほど小林社長からお話がありましたが、研修生として同期で研修の時に同じ部屋だったのですが、年長の先輩ということで、何も分からずただ背中を追いかけてきました。代理店の先輩はいつも厳しいながらもアドバイスをいただけるので、本当にありがたいと思っています。先ほどからお話がありますように、KPCとはこういう組織なのだと思います。こうして今はKPC会長を務めておりますが、今後ともこのKPCの良さについて、次の世代に繋いでいけるようにしたいと思います。

私は海野会長のときに研修委員として呼ばれ、安松谷会長のときに本部役員になりました。私なりにKPCでは様々なことを勉強させて頂きました。このような組織で仕事ができることは非常にありがたく光栄なことであり、何とか自分も遅れないように頑張っていこうと考えております。

#### 武藤部長(司会進行役) ▶▶▶

次の30周年に向けて、KPCの会員や、また当社に対しての色々な想いがあると思いますので、みなさまよりエールを送っていただければと思います。

#### 竹内氏 ▶▶▶

わたしがKPCに期待をすることというのは他社にはない「代理店が代理店を育てる文化」、そして、「代理店同士の横のつながりの深さ」をこれから先も持ち続けていって欲しいということです。

昨年の特級セミナーに参加した際、初めて参加した25年前のことを思い出しました。当時私は

31歳で、安松谷さんや飯尾さんのお父さんなど、創業者である大御所の方々がおり、こんな営業活動をしている代理店が世の中にいるのかと驚き、少しでも早く追いつきたいと思っていました。

世代交代した次世代の人達は、親や創業者の土台があり継いだ人たちなので、生ぬるいのではないのかと思っていました。しかし、改めて参加者の顔ぶれを見ると、全然そのようなことはなく、次の世代は次の世代で、これから先どのようにやっていくのか、自分の代理店経営を真剣に考えていることに驚かされました。何年かするうちに、顔つきもどんどん変わっていくのが分かりますし、何となく親父より凄いなという人たちもいっぱいいます。

事業継承というのは将来の代理店経営をどうしていこうかと考えていける後継者を作ることが大事なことなのだと思います。そういう面でうまく後継者にバトンタッチできている先輩方のように、その人たちの新しい感性に一生懸命ついていかないといけないと思っています。

#### 鈴木氏 ▶▶▶

先ほども少し話しましたが、KPC・共栄火災もこの20年で大分変わってきており、「準会員を入れてなるべく会員を増やそう」「他社の代理店も仲間に入れよう」と会員拡大の取組みを進めています。非常に良い取組みだと思います。KPC組織の収保シェアが共栄火災の中で10%くらいしかなく、共栄クラブの時とは全然違う感覚で驚いた記憶もありますので、500会員まで増やそうというのは大いに賛成です。もう少し、KPCの共栄火災の中でのシェアを大きくしていきたいなというの



が希望です。

#### 飯尾氏 ▶▶▶

当時、代理店が全国で60万店ほどあり、今後減少すると言われてから10年を経て、今は20万店を切りました。募集人は増えているのに代理店は減っている現状をこの10年、間近で見してきました。

これだけ時代が変わって、お金も仮想通貨などが出てきたり、保険会社や銀行などの様子も随分変わろうとしています。代理店の数も減るとともに、自動車保険自体の在り方も将来的に変わるかもしれません。その中で同じように取組んでいたら生き残っていけないと思います。だからこそ、「若い力」を活用することで変化に対応し、若い人から学ぶ姿勢も大事になります。以前読んだ本には、今後、保険の業務知識や約款知識はAIや機械には絶対に勝てない。しかし、最終的にお客様に安心してもらうことは人間しかできないことだと書いてありました。KPCもこういう方向をしっかりと見据えてみんなで勉強し続ける組織でいて欲しいです。

#### 小林氏 ▶▶▶

去年の特級セミナーで「若い人」が非常によい感覚をもって育っていると実感しました。逆にこちらが勉強させてもらい、早速彼らの言っていることを取り入れてやっています。併せてここにいらっしゃる方は合併して吸収してというような世界でやっている方々ではないと思います。私の地元でも、統合・合併・解散を保険会社主導で言われた通り繰り返し行われ、とにかく代理店は、会社の指示に従っていれば良いと考えている保険会社もあると聞きます。KPCの特色を生かして、仲間を増やして、「彼らとは違うぞ、中堅どころで何がわるい」、と共栄火災とともに胸をはってパートナーとして一緒にやっていける組織作りができればいいと思います。小沼会長には、会員を増やして会社とともに戦えるKPCを作っていただけ

ばと思います。私も一生懸命支えていきます。

### 安松谷氏 ▶▶▶

KPCは今までと違って、繊細な時代に入ってきたなと思います。地域をどうやって開拓していくか、会員の交流をどうやっていくかということになると思います。私の感じることは、地域への活動、コミュニケーションを総会や研修会で終わらせず、日頃からやっていかなければいけないということです。これができれば、新しい会員の話もできると思います。KPCの歴代役員は牽引力になってもらい、研修会や総会だけでなくもっともっとパワーを広げていかないといけないと思います。そこで切磋琢磨できるような環境が必要です。

会社だけに頼るのではなく自主的にやる精神が昔はもっと強かったと思います。そういう取組みをもう一度思い出しながら交流の場をつくっていったら良い。そういう場があればKPCは非常に強くなります。さらに盛り上がるためには地域でのコミュニケーションの拡大を今後に繋げていくというのが大切だと思います。

### 雨宮氏 ▶▶▶

代理店になりたいという若者が必要だと思いますが、皆さんの周りにはそんな人がいるでしょうか。苦勞してまで代理店経営をやりたいという人がいないというのが本音ではないでしょうか。では、そういう若者に来てもらうにはどうしたらいいの

でしょう。目線を変えないと駄目だと思います。

昔、KICの長田さんは私のところに約10日間研修に来ていました。それでKICという会社を作った。保険代理店をやるには保険代理店だけやっていたら駄目な場合もあります。自分も真似てみたいことに取組んでいる代理店は全国にあるはず。そういうところに研修にいき、どんどん現場を見て学ぶことが大切だと思います。

こういうことを皆さんで考えてモデル地域を作ってやるべきじゃないでしょうか。うちの近所でニコーはドンキホーテって言われています。何でも揃いお客さまの抱える問題をトータルで解決しているからだと思います。是非、目線を変えて時代の変化に対応できるくらいの特長を持ちたいですね。共存同栄で、お客さまも良い、自分も良い、共栄火災も良いというお互い相手の身になって物事を考えていくべきだと思います。

### 武藤部長(司会進行役) ▶▶▶

皆さま方から非常に貴重なお話をいただきました。最後に現会長であります小沼会長から、次年度会長2年目となりますが、20周年に向けた決意をいただきたいと思います。

### 小沼会長 ▶▶▶

皆様本日はありがとうございました。次年度のスローガンは「挑戦」がテーマであるということ掲げております。サブタイトルが原点回帰というこ



第9代会長

2017年～

KMライフ

小沼  
Onuma  
茂文  
Shigebumi



とでは、まさしくそのことを踏まえてお話いただいたと思います。一年間会長を務めて、5支部ほど回りました。様々な土地を訪問し色々な会員さんがいらっしゃるなど感じました。

東北では地元の名士だったり、地域のために活動していたりする代理店さんがいらっしゃいます。九州に行けば、代理店をどんどん吸収して大きくなっている若手の代理店もいらっしゃいます。さきほどお話ありましたように、本当に多様化しています。様々なやり方でやっている代理店がいて良いと思います。今、KPCはこうした代理店さんを仲間に取り込むことで規模拡大に向かっていこうと考えています。規模を拡大し、より強固な組織にして、さまざまな形態の代理店さんと一緒に大きくなっていきたい。代理店同士のコミュニケーションを大切にしたい、いろいろなことを話ができるような組織にしたいと考えています。

先日ある支部に行った時、その支部は年間販促（支部リーグ戦）で下位だったのですが、懇親会の最後に前支部長の方が「支部長がかわいそう、こんな結果で本社に行くんだよ、これじゃだめじゃないか、みんなもう少し頑張ろうよ」と言って下さいました。私も席におり、言いたいけどなかなか言えないセリフで、そこを先輩が言ってくれたのはありがたかったです。これがKPCだと感じました。様々な形のモチベーションがありますが、支部活動もモチベーションの一つにしていきたいと考えています。是非とも歴代の会長の方々には支部において、そういう役割をしていただきたいです。

現在、17名の理事がいますが、非常に良いメンバーです。是非ともこの17名の支部長を応援して

いただきたい。これからも頑張りますので宜しくお願いいたします。本日は20周年記念ということでお集まりいただきましてありがとうございました。

**武藤部長**(司会進行役) ▶▶▶

ありがとうございました。それでは最後に助川社長・武藤専務よりお願いいたします。

**助川社長** ▶▶▶

本日はありがとうございました。今日の座談会でまたあらためていろいろ感じさせていただきました。本当に当社は代理店の皆さまとの強いつながりと信頼関係を持って運営していることを実感しました。経済が成長しているときには同じことを繰り返していても事業は伸ばせますが、経済が下降しているときは同じことをやっていると同じように下降していきます。皆さまから意見を聞いて私たちも変わらなくてはいけないし、工夫しながらやっていかななくてはならないと実感しました。当社の良い部分だと言っていた、代理店の皆さまの横の連携がとれる環境を大切に、良いところをさらに磨き上げていきたいと思いますので、引き続き宜しくお願いいたします。

**武藤専務** ▶▶▶

私は95年から3年間プロクラブの事務局をやっており、その前に中国支店に勤務しておりましたので、初代会長の長田さんとは、その時から共栄クラブの支部の運営でいろいろな話をさせていただきました。長田会長に最初にお会いして支部の運営のときに言われたことは、「共栄火災の良さ

共栄プロクラブ参与

共栄火災海上保険株式会社  
代表取締役 専務執行役員

武藤  
Muto  
和文  
Kazufumi



はたくさんある。仲間意識が強いし、同じ目線で考えてつながりをすごく大事にする。ただ、一番悪いところは一人ひとりが寄りかかって、俺ができなくてもいいじゃないか、という甘えの構造がある」ということでした。

どうやったら本当に良い組織をお互いに作っていけるかということの本気で考えていかなければいけないと思っており、営業方針もその前提で作っています。そこには6年前から代理店・募集者の皆さまを、「同じ保険事業に共に取組むパートナーとして大切にする会社」ということを掲げています。そのことが末端まで浸透できているかということになると不十分な部分もあるかもしれませんが、ベースの考え方はしっかり持ったうえで、お互いに組織がよくなることを一生懸命やっていきたいと思っておりますので、引き続き様々な面でのご支援を宜しく願いいたします。

**武藤部長(司会進行役) ▶▶▶**

本当にありがとうございました。現在、1700億の元受収保計画の下で取組んでおるところでございます。これをなんとか達成したいので、さらなる数字の牽引をお願いしたいと思っております。



すし、次年度20周年ということで小沼会長共々KPCの事業量の拡大を図っていきたく思っています。皆様方には大きな牽引をいただきたいと切にお願いいたしますし、営業店・営業担当者を叱咤激励いただきながら、共に成長していきたく思っていますので、宜しく願いいたします。



武藤部長      雨宮氏      小沼会長      安松谷氏      竹内氏  
 小林氏      助川社長      鈴木氏      飯尾氏      武藤専務

## Ⅱ. 記念キャンペーン

### 概要

グレードアップ(補償の充実)提案や、新規契約の取組みにより、自動車保険料率改定(2018年1月)による減収を抑制し、KPC全体で2018年3~5月の3ヶ月間に1億円の増収を目指します。

対前年の自動車NF計で下記期間の増収会員を表彰します。

①「カウントダウン・キャンペーン」(2018年3月) → 単月で表彰(対前年+200千円)

②「おめでとうキャンペーン」(2018年4月~5月) → 累計で表彰(対前年累計+400千円)

### ① カウントダウン・キャンペーン

**表彰** 表彰条件を満たした会員全員に、「サイ花」のぬいぐるみ(20周年記念プレミアムバージョン)をプレゼント。

- 3月単月表彰では、右側のサイ花とメッセージボードのみです。
- 左側のサイ吉と並べるには、4~5月のキャンペーンにおいても、入賞する必要があります。



### ② おめでとうキャンペーン

**表彰** 表彰条件を満たした会員全員に、「サイ吉」のぬいぐるみ(20周年記念プレミアムバージョン)をプレゼント。

- 4月・5月累計で達成した会員さんがもらえます。
- 20周年記念ロゴの入った旗を持ったプレミアムサイ吉です。



「サイ吉」&「サイ花」  
ぬいぐるみ  
20周年記念  
プレミアムバージョン

## Ⅲ. 記念植樹

2018年4月26日、富士研修センターレインボーにて小沼会長、武藤専務、赤崎営業統括部長による20周年記念植樹を行いました。

記念植樹に植えられたのは、実だけではなく白い花や紅葉も美しく街路樹としても人気の樹木「ナナカマド」で、レインボー入り口駐車場横に植えられました。



### 「ナナカマド」

開花時期 : 5月~7月  
実が赤く色づく時期 : 9月~11月  
紅葉の時期 : 10月下旬~11月初旬

# IV. 社会貢献活動

- KPC20周年を迎えるにあたり、社会貢献活動として『Kyoeyi Safe Water For Children プロジェクト』へ協賛

『Kyoeyi Safe Water For Children プロジェクト』とは自動車保険ノンフリート1件につき、約30ℓの不衛生な水を安全できれいな水にすることができる浄化剤を、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、途上国の子どもたちに届けます。損害保険会社では当社が初めてとなる取組みです。



## 取り組み内容

### 募集チラシ・ポスターを活用した紹介活動

『Kyoeyi Safe Water For Children プロジェクト』にKPCが協賛している旨を伝える募集チラシ・ポスターとクリアファイルを作成。本紙面を活用いただくことで多くの契約者のみなさまへ本取組みを紹介いたします。

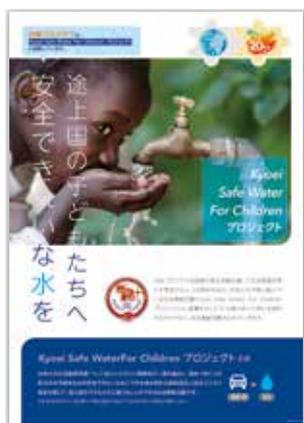
専用チラシ・ポスター、  
クリアファイルを  
活用した紹介活動



名刺用シール  
によるPR



## 各種ツールイメージ



Safe Water For Children プロジェクト ポスター【KPC専用】



Safe Water For Children  
プロジェクト チラシ【KPC専用】



Safe Water For Children  
プロジェクト名刺貼付用シール



Safe Water For Children  
プロジェクト・クリアファイル【KPC専用】



## 参考資料

I. 歴代本部役員

II. 歴代支部リーグ優勝支部・  
KPC杯優勝支部

III. 共栄プロクラブ会則

## 歴代本部役員

※代理店名、所属支部は当時の標記としています。

### 1998年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	呉保険センター	長田 博之	中国
副会長	三幸社	小畑 武彦	系統開発
	海野保険事務所 (有)ゴトー保険事務所	海野 成徳 後藤 武志	東営一 九州一
常任理事	アサヒ	高橋 浩	横浜
	共栄濱田保険事務所	濱田 繁光	北海道一
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北三
	金沢笹木	笹木 伸弘	北陸
	ニコー	雨宮 高彦	静岡
	安松谷総合保険サービス 有限会社でぐち保険事務所	安松谷 義彦 出口 史典	大阪 四国

### 1999年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	海野保険事務所	海野 成徳	東京
副会長	(有)ゴトー保険事務所	後藤 武志	九州一
	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪
	ニコー	雨宮 高彦	静岡
常任理事	三幸社	磯辺 昂夫	系統開発
	共栄ユアーズ	長島 勲	東京
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西東京
	アサヒ	高橋 浩	横浜
	共栄濱田保険事務所	濱田 繁光	北海道一
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北三
	佐伯保険事務所	佐伯 清明	富山
あいわ保険	嶋崎 守	中国	
相談役	呉保険センター	長田 博之	中国

### 2000年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	海野保険事務所	海野 成徳	東京
副会長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪
	ニコー	雨宮 高彦	静岡
	三幸社	磯辺 昂夫	系統開発
常任理事	長島保険事務所	長島 勲	東京
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西東京
	アサヒ	高橋 浩	横浜
	コシバ損害保険	小柴 満	北海道
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北三
	佐伯保険事務所	佐伯 清明	富山
	あいわ保険	嶋崎 守	中国
相談役	呉保険センター	長田 博之	中国

## 2001年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	海野保険事務所	海野 成徳	東京
副会長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	関西二
	ニコー	雨宮 高彦	静岡
	三幸社	磯辺 昂夫	系統開発
常任理事	長島保険事務所	長島 勲	東京
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西関東
	コシバ損害保険	小柴 満	北海道
	あいわ保険	嶋崎 守	中国
	ミヤキ保険センター有限公司	宮木 徹	九州一
相談役	呉保険センター	長田 博之	中国

## 2002年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	ニコー	雨宮 高彦	静岡
副会長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	関西二
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西関東
	有限会社でぐち保険事務所	出口 史典	四国
常任理事	コシバ損害保険	小柴 満	北海道
	有限会社村上保険事務所	村上 齋	四国
相談役	海野保険事務所	海野 成徳	東京

## 2003年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪
副会長	関口保険事務所	関口 美津夫	東北二
	共和損保	矢吹 賢治	中国
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北一
	清水総合保険	杉田 善彦	静岡
	村上保険事務所	村上 齋	四国
	あさひ保険センター	野口 菊待	九州一
相談役	ニコー	雨宮 高彦	静岡

## 歴代本部役員

### 2004年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪
副会長	関口保険事務所	関口 美津夫	東北二
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西関東
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北一
	富山大成	松黒 孝雄	富山
	清水総合保険	杉田 善彦	静岡
	有限会社キョウエイ藤原保険事務所 あさひ保険センター	藤原 敏久 野口 菊待	中国 九州一
相談役	ニコー	雨宮 高彦	静岡

### 2005年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪
副会長	関口保険事務所	関口 美津夫	東北二
	有限会社共栄小林	小林 正彦	西関東
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北一
	富山大成	松黒 孝雄	富山
	株式会社富山保険事務所	富山 高行	関西
	有限会社キョウエイ藤原保険事務所	藤原 敏久	中国
	あさひ保険センター	野口 菊待	九州一
相談役	ニコー	雨宮 高彦	静岡

### 2006年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	有限会社共栄小林	小林 正彦	西関東
副会長	株式会社富山保険事務所	富山 高行	関西
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	東北一
	富山大成	松黒 孝雄	富山
	有限会社佐藤保険事務所	佐藤 勝哉	大阪
	共和損保	矢吹 賢治	中国
	あさひ保険センター	野口 菊待	九州一
相談役	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪

## 2007年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	有限会社共栄小林	小林 正彦	甲信
副会長	株式会社富山保険事務所	富山 高行	関西
	(有)沓澤総合保険事務所 共和損保	沓澤 六雄 矢吹 賢治	南東北 中国
常任理事	有限会社佐藤保険事務所	佐藤 勝哉	大阪
	有限会社 リムピア	横尾 昇治	名古屋
	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	(有)酒匂保険事務所	酒匂 昭男	南九州
相談役	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪

## 2008年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	有限会社共栄小林	小林 正彦	甲信
副会長	(有)沓澤総合保険事務所	沓澤 六雄	南東北
	有限会社 リムピア	横尾 昇治	名古屋
	(有)酒匂保険事務所	酒匂 昭男	南九州
常任理事	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	共栄	鈴木 良樹	静岡
	(株)飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪
相談役	安松谷総合保険サービス	安松谷 義彦	大阪

## 2009年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	(株)飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪
副会長	(有)酒匂保険事務所	酒匂 昭男	南九州
	有限会社 リムピア	横尾 昇治	名古屋
常任理事	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	共栄	鈴木 良樹	静岡
	KMライフ	小沼 茂文	茨城
	株式会社 中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
相談役	有限会社共栄小林	小林 正彦	甲信

## 歴代本部役員

### 2010年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	(株) 飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪
副会長	(有) 雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
常任理事	共栄	鈴木 良樹	静岡
	KMライフ	小沼 茂文	茨城
	(有) 弘和	多和 康司	北海道
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
相談役	有限会社共栄小林	小林 正彦	甲信

### 2011年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	共栄	鈴木 良樹	静岡
副会長	(有) 雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	(有) 弘和	多和 康司	北海道
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
相談役	(株) 飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪

### 2012年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	共栄	鈴木 良樹	静岡
副会長	(有) 雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	SK保険サービス	若井 将人	北東北
	(株) ワンダー保険企画	若林 徹	富山
相談役	(株) 飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪

## 2013年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	共栄	鈴木 良樹	静岡
副会長	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	SK保険サービス	若井 将人	北東北
	(株)ワンダー保険企画	若林 徹	富山
	コオリ総合保険	郡 英宏	九州
相談役	(株)飯尾保険事務所	飯尾 和子	大阪

## 2014年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
副会長	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
	SK保険サービス	若井 将人	北東北
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	(株)ワンダー保険企画	若林 徹	富山
	(株)コオリ総合保険	郡 英宏	九州
	ニコー	雨宮 克重	静岡
相談役	共栄	鈴木 良樹	静岡

## 2015年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	横浜
副会長	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
	SK保険サービス	若井 将人	北東北
常任理事	KMライフ	小沼 茂文	東関東
	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	(株)コオリ総合保険	郡 英宏	九州
	ニコー	雨宮 克重	静岡
相談役	共栄	鈴木 良樹	静岡

## 歴代本部役員

### 2016年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	京浜
副会長	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
	KMライフ	小沼 茂文	東関東
常任理事	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	(株)コオリ総合保険	郡 英宏	九州
	ニコー	雨宮 克重	静岡
	(有)遠藤損害保険事務所	遠藤 嗣延	北海道
相談役	共栄	鈴木 良樹	静岡

### 2017年度

役職名	代理店名	会員名	所属支部
会 長	KMライフ	小沼 茂文	東関東
副会長	株式会社中野総合保険サービス	広藤 明浩	中国
	ニコー	雨宮 克重	静岡
常任理事	有限会社池田保険事務所	池田 和弘	関西
	(株)コオリ総合保険	郡 英宏	九州
	(有)遠藤損害保険事務所	遠藤 嗣延	北海道
	有限会社ティーケーエス	高橋 君昌	京浜
相談役	(有)雅エージェンシー	竹内 雅二	京浜

## 歴代支部リーグ優勝支部、KPC杯優勝支部

### 歴代支部リーグ優勝支部

年度	支部
2004	九州第一
2005	西関東
2006	名古屋
2007	神戸
2008	中国
2009	大阪
2010	—
2011	東北
2012	南東北
2013	—
2014	北海道
2015	神戸
2016	東関東
2017	神戸

### KPC杯優勝支部

年度	支部
2015	静岡
2016	神戸
2017	静岡



## 会 則

### 第1条(名称)

本クラブの名称は、「共栄プロクラブ」と称する。

### 第2条(目的)

本クラブは、業界競争に勝ち抜きお客様から選ばれるプロ代理店として地域に密着した保険の普及活動を通して社会貢献を果すとともに、会員の保険事業の拡大・安定を図ることを目的に研修活動を中心とした組織活動を展開し、共栄火災海上保険株式会社(以下、共栄火災という。)、フコクしんらい生命保険株式会社との相互繁栄を目指す。

### 第3条(事業)

本クラブは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 各種研修活動
- (2) 各種販売促進活動
- (3) 経験交流や情報提供などの支援活動
- (4) 会員の事業拡大・安定に資するための調査、研究
- (5) その他

### 第4条(会員)

会員は共栄火災の代理店で共栄プロクラブの趣旨および共栄火災の会社政策・方針・理念に賛同し、研修活動や組織体運営に積極的に参加するとともに、スキルアップ・体制整備等に前向きに取組み、自立ならびに事業拡大を目指す代理店で、運営細則に定める共栄プロクラブの加入条件を満たすと共に本部において入会を認められた代理店とする。

### 第5条(加入)

共栄プロクラブに加入を希望する代理店は、所定の申込書に必要事項を記入の上、共栄火災営業店、支部事務局を通じて本部事務局に申し込む。

共栄火災営業店、支部事務局、共栄プロクラブ本部事務局において入会条件を審査し、本部が承認した場合入会することができる。

入会は年1回(4月1日付)とし中途入会は認めない。

### 第6条(異動)

会員は運営細則に定める事由が生じた場合、速やかに支部事務局を通じ本部事務局に報告する。

---

## 第7条(退会)

会員の退会は次のいずれかの事由に該当し本部において受理・承認した場合とする。

1. 共栄プロクラブ運営細則に定める入会基準を充たさなくなったとき。(事業年度末をもって充足状況を判定する。)
2. 共栄火災の代理店でなくなったとき。
3. 会員からの退会の申し出があったとき。

---

## 第8条(組織)

1. 本クラブには共栄火災の本社に本部を、部支店毎に支部をおく。ただし、必要に応じて複数の部支店を合同して支部をつくることができる。
2. 支部は支部規約を定める。

---

## 第9条(機関)

本クラブに、次の機関をおく。

1. 理事会
2. 常任理事会
3. 販促部会
4. 研修部会

---

## 第10条(役員)

本クラブに、次の役員をおく。

1. 会長 1名
2. 副会長 若干名
3. 常任理事 若干名
4. 理事 若干名
5. 販促部長 1名
6. 研修部長 1名
7. 参与 1名

---

## 第11条(役員の任務)

役員は、次の任務を行う。

1. 会長は本クラブを代表して会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し必要のあるときはその職務を代行する。
3. 常任理事は理事会ならびに常任理事会に出席しその会務を行う。
4. 副会長ならびに常任理事の業務は次の通りとする。
  - ① 本部方針、本部決定事項の徹底と本部活動の円滑化、活性化を図る。

- ②地域を分担し支部間の推進事項の調整および情報交換を行う。副会長、常任理事の担当支部については会長が委嘱する。
5. 理事は理事会に出席しその会務を行う。また、理事は常任理事に対して支部活動状況の報告並びに意見交換を行う。
  6. 販促部長ならびに研修部長は販促部会ならびに研修部会を開催しその会務を行う。
  7. 参与は理事会ならびに常任理事会に出席し意見を述べることができる。

---

#### 第12条(役員を選出・選任)

1. 理事は支部において会員から選出された支部長をもってこれにあてる。
2. 会長は理事会において理事の互選により選出する。
3. 副会長および常任理事は理事・販促部長・研修部長の中より会長が委嘱する。
4. 会長選出支部は別途支部長をおくことができる。
5. 販促部長ならびに研修部長は会員の中より会長が委嘱する。
6. 参与は共栄プロクラブ本部事務局担当の共栄火災役員がこれにあたる。

---

#### 第13条(役員の任期)

- 役員の前任期は1年とし再任を妨げない。  
ただし、会長の任期は1年とし、原則最長3年とする。

---

#### 第14条(相談役)

1. 本クラブに相談役を理事会の推薦によりおくことができる。
2. 相談役の委嘱、任務については運営細則に定める。

---

#### 第15条(理事会)

1. 理事会は本クラブの最高議決機関であり、理事、参与をもって構成する。
2. 理事会は年1回定例開催する。但し、必要に応じて臨時理事会を開催することができる。
3. 理事会は会長が招集しその議長となる。
4. 理事が理事会に出席できない場合は理事選出支部内より代理者を出席させることができる。
5. 前項の代理出席者は理事に代わってその任務を行う。

---

#### 第16条(常任理事会)

1. 常任理事会は本クラブの執行機関であり、会長、副会長、常任理事、販促部長、研修部長、参与をもって構成する。
2. 常任理事会は必要に応じて開催することができる。
3. 常任理事会の招集は会長が招集しその議長となる。

---

### 第17条(販促部会・研修部会)

1. 販促部会・研修部会は常任理事会の決議事項に関する諮問を受け審議すると共に、会員の意見要望を踏まえ諸課題の解決策を検討し常任理事会に報告する。
2. 販促部会・研修部会は販促部長・研修部長、委員をもって構成する。委員は会員の中から販促部長・研修部長が委嘱する。
3. 販促部会・研修部会は必要に応じて開催することができる。
4. 販促部会・研修部会の招集は販促部長・研修部長が招集する。
5. 販促部会・研修部会の構成、役割等については運営細則により定める。

---

### 第18条(事務局)

1. 本クラブは本部、地区本部にそれぞれ事務局をおく。
2. 本クラブの本部事務局は共栄火災本社内におく。
3. 本クラブの支部事務局は、共栄火災地区本部内におく。

---

### 第19条(運営細則)

1. 本クラブの適正かつ円滑なる運営をはかるため、共栄プロクラブ運営細則を定める。
2. 前項の運営細則は、常任理事会の決議により改廃することができる。

---

### 第20条(研修参加会費)

本クラブは、研修活動の運営費用に充てるため、参加者より会費を徴収することができる。

---

### 第21条(会則の改廃)

本会則は、理事会において改廃することができる。

---

### 付 則

1. 施行及び改定は次のとおり  
1998年4月22日施行  
1999年4月1日改定  
2000年4月1日改定  
2001年4月1日改定  
2002年4月1日改定  
2003年4月1日改定  
2007年4月1日改定  
2008年4月1日改定  
2010年4月1日改定  
2014年4月1日改定

以上





